

新冠野球スポーツ少年団が 全道大会での健闘を誓う



7月6日、「第44回スタルヒン杯奪全道軟式野球大会」の出場が決定した。新冠野球スポーツ少年団の小学6年生5名が鳴海町長を表敬訪問し、抱負を述べました。大会は7月15日から旭川市で開催され、惜しくも初戦敗退となりましたが、7月23日に「2023FBC・U-12日高支部予選大会」で優勝し、二大会連続で全道大会出場の快挙を達成しました。

令和5年度は「防災」がテーマ プラスワン・サブセミナー開催



7月8日、レ・コード館で、町民27人が犠牲となった昭和30年災害を経験した町田登氏、大下謙二氏を講師に招き、プラスワン・サブセミナー「昭和30年災害を振り返る」が開催されました。両氏は写真を交えながら当時の被害状況や様子について説明し、災害に備えて、日ごろから避難訓練などに参加することの重要性を強調しました。

アイヌ文化にふれる 体験教室を開催

7月9日に、ポロシリ生活館で新民族文化保存会が講師となり、アイヌ文化体験教室が開催されました。午前中はイチャルパの儀式などで食べるコンブシト(昆布団子)作りの料理教室が行われ、参加者は昆布を油で揚げるなど、アイヌ文化にふれる貴重な体験となりました。午後からはアイヌ文様の刺繍教室が行われ、装飾や魔除けとして用いられてきた文様を形作る「チエーンステッチ」という技法を学びながら、思いの作品へと仕上げていきました。アイヌ文化体験教室は、今後も開催する予定です。



陶芸サークルの会員と共に 子ども達が陶芸に挑戦



7月13日、放課後子ども教室特別体験事業として、陶芸館で陶芸教室が開催されました。参加した10名の児童は、新冠陶芸サークル指導のもと、土の感触を楽しみながら作品を作りました。今後は、サークルの皆さんが作品を素焼きして児童達が色付けを行います。完成した作品は、町民文化祭で展示する予定です。



7月20日、中体連全道大会出場する新冠中学校生徒14名が、鳴海町長を表敬訪問しました。生徒を代表し、男子バレーボール部の美馬宏哉主将が抱負を述べ、町長から生徒に対し、激励の言葉がありました。出場種目は、陸上、柔道、男子バレーボール、卓球の4種目で、7月25日から8月5日に開催される全道大会に出場します。

第27回 にかっぶふるさと祭り

令和5年7月15日、16日の2日間、レ・コード館第2駐車場をメイン会場に「第27回にかっぶふるさと祭り」がコロナ禍を経て4年ぶりに開催されました。

15日の宵宮祭は、あいにくの雨に見舞われ、予定していた新冠判官太鼓の演奏が中止となりましたが、新冠町出身の向井成一郎さんによるショーと氷川若衆会を中心とする周慶みこしの練り歩きは予定通り開催され、会場は大いに盛り上がりました。

16日の本祭りは天候が回復し、イベントが全て予定通り行われました。町内を子どもみこしが練り歩き、診療所や商工会前では、新冠中学校吹奏楽部や新冠判官太鼓の演奏、周慶みこしの練り歩きが行われました。

メイン会場は、スノードロップスによるダンスや新冠フラサークルの踊りなどイベントが行われました。さらに、旭川市出身のシンガーソングライター児玉梨奈さん、札幌在住のまねタレントの清水まことさん、NHK紅白歌合戦の出場歴もある田川寿美さんの歌謡ショーにより会場も大いに盛り上がり、町内外から訪れた人々は、新冠の夏の一大イベントを楽しみました。

